

学校教育目標 校訓: 自律 貢献

高い知性と豊かな心を身につけ、たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 思いやりがあり、正しく判断できる生徒
- 明るく、健康な生徒

目指す教師像

- 使命感に燃え、チームワークを大切にする教師
- 生徒の声に耳を傾け、生徒のために動く教師
- 生徒や保護者、地域の期待に応え、信頼される教師

- 知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成
- 社会の形成者となる人づくり

文武両道で活力ある学校

～挑戦・成長・感謝～

- 日々の教育活動における自尊感情の育成
- 希望や生きがいを持って前向きに生きる態度の育成
- 心の居場所になる集団づくりの推進

§ 経営の基本方針 §

- 義務教育9年間を見通した連続性のある教育の推進
- 生徒一人一人の確かな成長のための教育活動
- 心身ともに健康で、夢や希望を育む教育実践
- 生徒指導の機能を生かした教育活動の展開
- 明るく元気でエネルギーに溢れ、励まし合い支え合う職員集団
- 教育力の向上を図る研修と校務分掌を効果的に運用した学校運営
- PDCAサイクルによる学校運営、開かれた学校づくり
- SDGs を意識した諸活動と学校運営
- 業務改善と教職員の働き方改革の推進 ○防災教育の推進

《家庭、地域との連携》

- 『開かれた学校づくりの推進』
- 家庭、地域と協働して、特色あるより良い学校づくりの推進。
- 〈手立て〉
- ・義務教育9年間を見通した連続性のある教育の推進
- ・学校評価アンケートの実施と結果の公開
- ・教育活動の積極的な公開・公報
- ・地域活動、行事への参加
- ・休日の部活動の地域移行

《生徒指導》

- 『生徒理解に基づく生徒指導の充実』
- いじめ防止対策を一層推進するため、職員研修の充実を図る。
- 発達段階に即したひとり一人の個性や能力を生かした集団づくりと「生命」を大切にする心の育成を図る。
- 〈手立て〉
- ・年3回の教育相談を実施。
- ・係・委員会活動を充実させ、自己有用感を高める。
- ・生徒会を中心とする自治的活動の活性化を図る。

《特別支援教育》

- 『生徒個々の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進』
- 生徒の実態把握を的確に行い、校内委員会において発達段階にあった支援方法を検討し、学校全体で支援していく。
- 支援の必要な生徒について、個別の支援計画及び個別の指導計画を作成し活用する。
- 〈手立て〉
- ・校内委員会を年3回以上実施し、職員間の共通理解を図る。
- ・合理的配慮とニーズに応じた適切な支援を組織的に行う。

《健康・安全》

- 『健康で安全な生活を実践する生徒の育成』
- 心身の発達段階に応じた健康教育を推進し、自らの健康を適切に管理できる能力の育成。
- 学校生活を含む生活全般をとおして、危険を予測・回避し、的確に行動できる能力の育成。
- 〈手立て〉
- ・食に関する指導の充実、健康増進・体力向上のための指導の充実を図る。
- ・外部人材などを活用した安全教育や防災教育を展開し、実践能力を高める避難訓練の工夫、地域家庭と連携した登校安全指導の実施、交通安全教室の実施を図る。

《教科》

- 『よく考え、自ら学ぶ生徒の育成』
- 各教科における言語活動の充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 習得した学習内容の活用
- 〈手立て〉
- ・新しい学習指導要領を確実に実施する。
- ・ICTの積極的な活用と相互授業研修を実施し指導力の向上を図る。

《道徳》

- 『思いやりがあり、正しく判断できる生徒の育成』
- 『考え、議論する道徳』を意識した指導方法の工夫改善を図る。
- 道徳の時間を要として、計画的・発展的な指導をとおして道徳教育の一層の充実を図る。
- 〈手立て〉
- ・議論を喚起する資料、映像教材を活用し内容を深める授業を実施する。
- ・日常生活、諸行事・体験的な活動など多様な学習場面で道徳的な目標を定め総合的に育成を図る。

《特別活動》

- 『心豊かで自ら表現できる生徒の育成』
- 集団活動をとおして、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点に関わる資質・能力を育成する。
- 〈手立て〉
- ・自治的能力の向上を目指すため、学校や学級の課題を見出しより良い解決を目指す話し合い活動を充実させる。
- ・「豊かな人間関係づくり実践プログラム」の活用を充実させ、人間形成能力を育成する。